

## ブラジル金融政策(2017年7月)

～ 利下げを継続。ブラジルの景気回復と社会保障改革法案の動向に注目。～

2017年7月27日

### お伝えしたいポイント

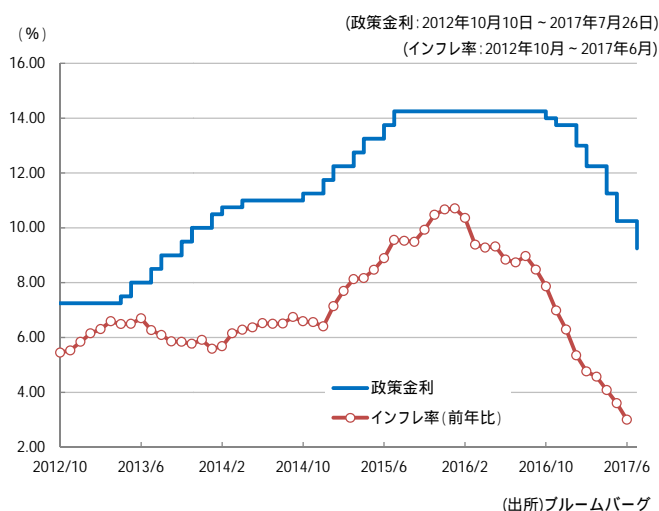
- ・ 中央銀行は利下げを継続
- ・ 声明文は想定よりもハト派なため、株式市場や債券市場にとっては追い風か
- ・ ブラジルの景気回復と社会保障改革法案の動向に注目

#### < 中央銀行は利下げを継続 >

ブラジル中央銀行は7月26日(現地、以下同様)、政策金利を1.00%ポイント引き下げ、9.25%とすることを決定しました。利下げの決定は全会一致で行われました。2016年10月以来の実施分を合わせると合計5.00%ポイントの利下げ幅となります。

今回の決定は大方の市場予想通りの結果となりました。インフレ率(前年比)が中央銀行のインフレ目標の範囲(3%~6%)の下限近辺と、物価の伸び率が落ち着いてきていることが利下げの背景です。政治に不透明感はあるものの、景気回復を支援する金融緩和政策は継続となりました。

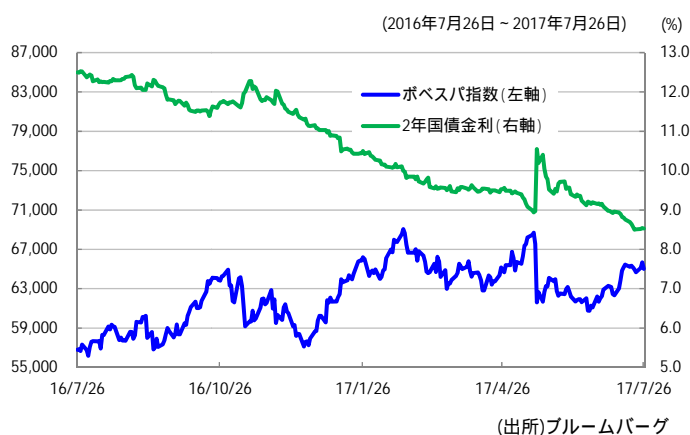
#### (政策金利とインフレ率の推移)



#### < 声明文は想定よりもハト派なため、株式市場や債券市場にとっては追い風か >

今回の Copom (金融政策委員会) の声明文においては、直近政府から発表された燃料関連税引き上げによる物価上昇予想があるにもかかわらず、そのことには言及しませんでした。また、当社マーケットレター「ブラジルの政策金利引き下げについて(2017/6/1)」でお伝えした中央銀行が政策金利の引き下げ幅を縮小させていく用意についての言及が今回は取り下げられました。今回の利下げ幅は市場予想通りでしたが、このように声明文の内容がよりハト派なため、今後の株式市場や債券市場にとって好感されやすい内容と考えられます。

#### (国債金利および株価指数の推移)



後述の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

## < ブラジルの景気回復と社会保障改革法案の動向に注目 >

今後の金融市場に影響を与えるテーマとしてブラジルの景気回復と財政健全化に向けた社会保障改革法案の動向に注目しています。

ブラジルの2017年1-3月期GDP（国内総生産）成長率は前期比で9四半期ぶりにプラスになるなどブラジル経済は不振から脱しようとしています。ブラジル経済はこれまで景気低迷と高インフレに苦しんできました。今後は、インフレ沈静化を受けて利下げを行うことで景気を刺激し、景気の安定を受けた通貨の安定がインフレ安定につながるかどうか重要になってくると考えます。

財政健全化に向けた構造改革の動向に関してですが、ここもとのブラジルの政治情勢を振り返ると、7月11日には議会上院で労働規制改革法案が可決されています。テメル大統領の汚職隠ぺい疑惑等を受けて、ブラジルの構造改革が停滞することが懸念されていましたが、改革を進める議会の意志の強さが確認されたことは評価でき、社会保障改革法案の成立にも期待がもてます。

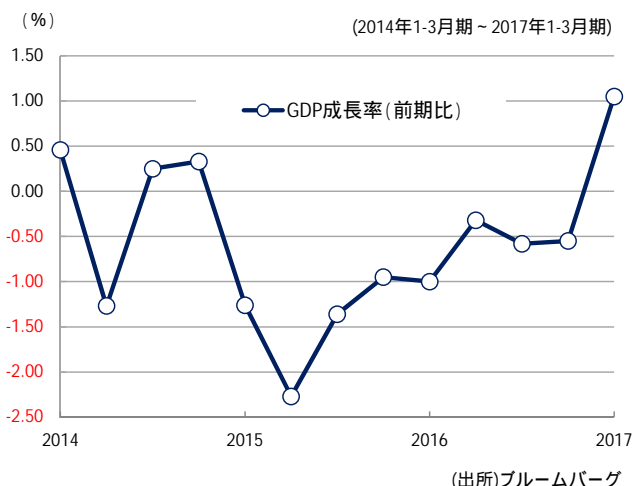
ただし、ブラジルの政局は依然として不透明な状況です。8月2日には議会下院において、大統領の汚職疑惑についての裁判を開始するかどうかの投票が予定されています。また、投票の結果、裁判の開始が回避されたとしても、大統領は他の容疑で再び起訴される可能性が高いとみられています。

こうした状況では、連立政権内部の政党が政権を離脱する動きが強まる恐れや、社会保障改革法案の審議・採決が先送りされる懸念が高まります。政府や議会が改革を進める意志は強いとみられるものの、政局の動きや、それを踏まえた今後の財政再建の行方を注視していく必要があると考えています。

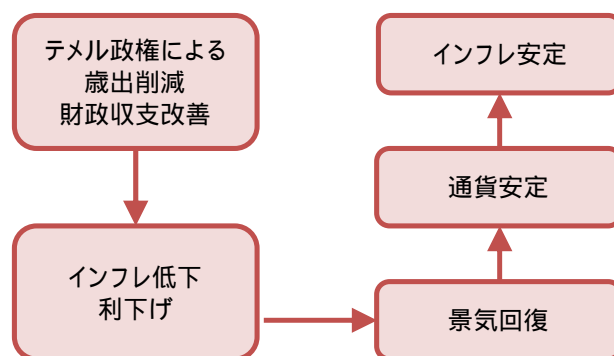
政府や議会が社会保障改革などの構造改革を着実に進める場合は、ブラジル経済に対する信認改善や利下げによる景気回復と相まって、ブラジル・レアルの下支えになると期待されます。

以上

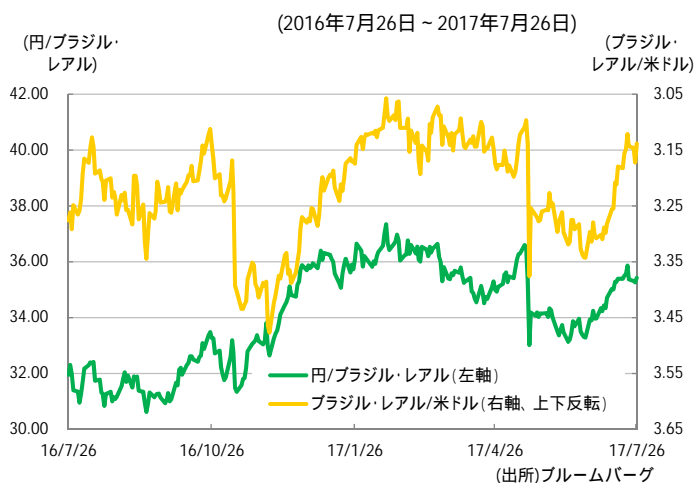
### (GDP 成長率 (前期比) の推移)



### (景気とインフレの安定までの経路 (イメージ))



### (為替の推移)



後述の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

## < ご参考 > 当社の関連リサーチ

下記のリサーチでは、直近のブラジルに関するテーマやその背景などをお伝えしています。

### マーケットレター

- ・ブラジルのテメル大統領の汚職疑惑 (2017/6/28)  
[http://www.daiwa-am.co.jp/market/html\\_ml/ML20170628\\_1.html](http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170628_1.html)
- ・ブラジル大統領の汚職隠ぺい疑惑続報 ~ その3 ~ (2017/6/13)  
[http://www.daiwa-am.co.jp/market/html\\_ml/ML20170613\\_1.html](http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170613_1.html)
- ・ブラジルの政策金利引き下げについて (2017/6/1)  
[http://www.daiwa-am.co.jp/market/html\\_ml/ML20170606\\_1.html](http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170606_1.html)
- ・ブラジル大統領の汚職隠ぺい疑惑続報 ~ その2 ~ (2017/5/25)  
[http://www.daiwa-am.co.jp/market/html\\_ml/ML20170526\\_1.html](http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170526_1.html)
- ・ブラジル大統領の汚職隠ぺい疑惑の続報 (2017/5/22)  
[http://www.daiwa-am.co.jp/market/html\\_ml/ML20170522\\_1.html](http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170522_1.html)
- ・ブラジル大統領の汚職隠ぺい疑惑と今後の注目点 (2017/5/19)  
[http://www.daiwa-am.co.jp/market/html\\_ml/ML20170519\\_1.html](http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170519_1.html)
- ・ブラジルの政策金利引き下げと金融市場見通しについて (2017/4/13)  
[http://www.daiwa-am.co.jp/market/html\\_ml/ML20170414\\_3.html](http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170414_3.html)
- ・ブラジルが政策金利を 0.75%ポイント引き下げ (2017/2/24)  
[http://www.daiwa-am.co.jp/market/html\\_ml/ML20170224\\_1.html](http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170224_1.html)
- ・ブラジルが政策金利を 0.75%ポイント引き下げ (2017/1/12)  
[http://www.daiwa-am.co.jp/market/html\\_ml/ML20170112\\_1.html](http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170112_1.html)

### 動画

- ・ブラジルマクロ経済 ~ 構造改革と利下げで経済環境見通しが改善するブラジル経済 ~ (2017/1/16)  
<http://www.daiwa-am.co.jp/guide/movie/popup/mov13.html>
- ・ブラジル債券市場 ~ 良好な投資環境が続くブラジル債券投資 ~ (2017/1/16)  
<http://www.daiwa-am.co.jp/guide/movie/popup/mov14.html>
- ・ブラジル株式市場 ~ 新政権による改革 ~ (2017/1/13)  
<http://www.daiwa-am.co.jp/guide/movie/popup/mov11.html>

### Weekly Report

- ・ブラジルの金融市場動向 (毎週更新)  
<http://www.daiwa-am.co.jp/market/weeklyreport.php?type=6>

### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ 大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00~17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

## お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

### 手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由で国内委託取引を行う場合、約定代金に対して最大1.24200%（但し、最低2,700円）の委託手数料（税込）が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては、現地諸費用等を別途いただくことがあります。
- 株式等の売買等にあたっては、価格等の変動による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほかに為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行うにあたっては、売買代金の30%以上で、かつ30万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 債券を募集・売出し等により、又は当社との相対取引により売買する場合は、その対価（購入対価・売却対価）のみを受払いいただきます。円貨建て債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。外貨建て債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、債券の発行者または元利金の支払いを保証する者の財務状況等の変化、およびそれらに関する外部評価の変化等により、損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された販売手数料および運用管理費用（信託報酬）等の諸経費、等をご負担いただきます。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

### ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。
- 外国株式、外国債券の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。

商号等：大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会